

# ウッド・チェンジへの取組

令和8年10月6日  
林野庁



## 参加団体等・研究機関・企業における取組等について（目次）

### 【団体等】

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 日本商工会議所               | 2  |
| 一般社団法人住宅生産団体連合会       | 3  |
| 一般社団法人日本建設業連合会        | 4  |
| 一般社団法人日本ビルディング協会連合会   | 5  |
| 一般社団法人不動産協会           | 6  |
| 一般社団法人全国木材組合連合会       | 7  |
| 一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会 | 8  |
| 一般社団法人日本林業経営者協会       | 9  |
| 全国知事会                 | 10 |
| 全国市長会                 | 11 |
| 公益社団法人国際観光施設協会        | 12 |
| 公益財団法人日本住宅・木材技術センター   | 13 |
| 一般社団法人日本ウッドデザイン協会     | 14 |
| 一般社団法人JBN・全国工務店協会     | 15 |

### 【企業】

|                   |    |
|-------------------|----|
| 東京海上日動火災保険株式会社    | 16 |
| 株式会社セブン-イレブン・ジャパン | 17 |
| ヒューリック株式会社        | 18 |
| SMB建材株式会社         | 19 |
| 株式会社大林組           | 20 |
| 株式会社シェルター         | 21 |
| 住友林業株式会社          | 23 |
| 株式会社竹中工務店         | 24 |
| 東急建設株式会社          | 25 |
| ナイス株式会社           | 26 |
| 前田建設工業株式会社        | 27 |
| 三井ホーム株式会社         | 28 |
| 三菱地所株式会社          | 29 |
| 三井不動産株式会社         | 30 |
| ライフデザイン・カバヤ株式会社   | 31 |
| 銘建工業株式会社          | 32 |
| 鉄建建設株式会社          | 33 |
| 株式会社日建設計          | 34 |

### 【研究機関】

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 | 35 |
|----------------------------|----|



## ウッド・チェンジ・アクション

商工会議所は、地域総合経済団体として、地域経済の活性化に向けた事業活動を展開。木材利用促進に向けた取組みも、自治体等とも連携しながら実施している。

### <日田商工会議所・大分県>

- 2028年春、日田材を活用した新商工会議所会館を竣工予定。「木のまち」を象徴する建築物とするほか、一般流通材の活用により低コスト化を図り、非住宅における木造化・木質化の普及モデルとする。本取り組みは2026年7月に日田市と締結した「建築物木材利用促進協定」締結に基づく、日田材活用の一環である。
- 木材産地としての全国の先進モデルを目指し、一般流通材も活用して低コスト化を図るなど、非住宅における木造化の普及を対外的に発信・PRする予定。



### <いわき商工会議所・福島県>

- 2022年10月～いわきカーボンニュートラル社会連携共同講座を実施（15講座・約100名受講/年）
- 2025年5月、全国森林組合連合会、県森林組合連合会、市森林組合、東部瓦斯株式会社、常磐共同ガス株式会社、農林中央金庫、いわき商工会議所およびいわき市は森林系Jクレジット推進の一環として「カーボンニュートラル・ふくしまいわき森守(もりもり)プロジェクト」に関する連携協定を締結。
- 2026年10月、いわき市の26企業・団体が構成される「いわきカーボンニュートラル人材育成コンソーシアム」では、タイのコンケン大学、マヒドン大学、チュロンコン大学などの学生訪問団を招聘する。目的としては、次世代のカーボンニュートラルを推進する産業人材の育成、福島高専との学生間の相互交流の促進、ひいては地域産業の活性化、ビジネスの発展に繋げていく。



## 今後のチャレンジ

引き続き、各地商工会議所を通じて、会員企業等に対し、ウッド・チェンジ協議会で得られる情報や政府の各種施策等の周知を図る。  
また、各地商工会議所等の木材活用に資する取組みの好事例を収集し、横展開を図る。

## 課題・連携協力の可能性

事業者等が木材利用のメリットや意義を感じられるための効果的な広報に加え、自治体や地元経済団体等との連携強化。

## 関連情報

日田商工会議所 日田市と「建築物木材利用促進協定」を締結：  
<https://www.jcci.or.jp/news/news/2026/0813114148.html>

いわき商工会議所「カーボンニュートラル・ふくしまいわき森守(もりもり)プロジェクト」：  
<https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1747027390269/index.html>



## ウッド・チェンジ・アクション

### 「住生活産業ビジョン Ver.2026」※を公表

住生活産業ビジョンは、国民の豊かな住生活の実現に向けて、住宅・住生活を巡る課題や、目指すべき住生活・住生活産業の姿、今後の取組みの方向性を示すものです。

住団連はこのビジョンの中で、森林資源の循環利用を推進するため、住宅・建築物分野において、炭素貯蔵効果が高い木材の利活用を推進し、グリーンウッド法に基づく合法伐採木材等の安定供給や利用拡大、国内山林の認証取得促進に係る方策の検討を進めることとしています。

※ 2018年に初回策定。2021年度を初年度とする住生活基本計画(全国計画)を踏まえ、「住生活産業ビジョンVer.2021」として2021年に改定。  
そして今回、2026年度を初年度とする住生活基本計画(全国計画)を踏まえて、「住生活産業ビジョンVer.2026」として公表した。

## 今後のチャレンジ

- ・ 持続可能性に配慮した木材供給に向けて林野庁及び国土交通省が連携して行う国産木材の安定的な需給体制の確立に、住生活産業の団体の立場から協力。
- ・ 国産材利用拡大に向けた会員企業における木質構造材および木質内装部材使用の促進。
- ・ 2050年カーボンニュートラル達成に向け、新築住宅のみならず、既存住宅の買取再販事業の拡大による断熱改修（部分断熱・部分ZEH化）の推進。

## 課題・連携協力の可能性

- ・ 国産木材の安定的な需給体制の実現に呼応した国産材需要の掘り起こし。
- ・ JAS材の安定供給に向けた製造・加工流通施設の整備、及び規格の合理化。

## 関連情報

一般社団法人 住宅生産団体連合会

ホームページ:<https://www.judanren.or.jp/>



## ウッド・チェンジ・アクション

### 大規模・中高層建築物の木造・木質化を推進

1. 社会的認知度の向上
  - ・「木造・木質建築プロジェクト一覧」の公開
  - ・木材利用と生物多様性についての検討
2. 木材利用のメリットの向上
  - ・木造情報を探す「もくネタ!」の改訂に関する検討
3. RC造、S造との価格競争力の向上
  - ・各種便覧や施工事例の整備等を通じた標準・規格化による、木造・木質化の生産性向上とローコスト化
4. 防耐火規制の合理化
  - ・木質建築関連法規制及びその運用の情報収集
  - ・関連法規制の合理化等に向け集約した意見の提案
5. 木造関係諸団体との協業

## 今後のチャレンジ

- 建設業における脱炭素社会実現への貢献
  - ・木材再利用に向けた課題整理と提言
  - ・脱炭素・生物多様性の両立
- 建設業における非住宅分野への木材利用拡大
  - ・鉄やコンクリートと併用・代替品としての木材利用
  - ・施工技術や各種便覧の標準化による施工管理手法の確立
- 建設業における労働力不足と働き方改革への貢献
  - ・軽量・加工容易性による生産性の向上
  - ・工場生産・ユニット化工法による生産性の向上

## 課題・連携協力の可能性

- ・川上(林業)・川中(木材メーカー)と川下(事業者)における規格・技術課題の共有と、実務に即した標準化に向けた意見交換の推進
- ・規制緩和・合理化に向けた関連団体・行政庁との連携協力

## 関連情報

一般社団法人 日本建設業連合会 ホームページ : <https://www.nikkenren.com/kenchiku/wooden/>



## 一般社団法人日本ビルディング協会連合会

### ウッド・チェンジ・アクション

- 「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、オフィスビル業界をリードする立場から令和5年に2030年度までの新たな数値目標を盛り込んだ「オフィスビル分野におけるカーボンニュートラル行動計画」を策定し、令和8年も継続してフォローアップ調査を実施。
- 行動計画における重点事項の一つとして「オフィスビルにおける木材利用の推進」を掲げ、建築物における国産材等の木材利用については、地域資源循環やウェルビーイング、脱炭素化への貢献が期待されていることから、中高層ビルの木造化・木質化をはじめ、オフィスビルにおける木材利用を推進する活動に取り組んでゆく。
- 木造・木質ビルの普及促進をテーマにしたビルオーナー関係者向け講演シンポジウムを2026年2月に開催。木造ビルの見学会を5月に開催。

### 今後のチャレンジ

- 会員企業に対する普及啓発等、国のキャンペーンと連携しつつ、先駆的な木材活用を導入した優良ビル事例や、支援制度に関する情報提供など、会員企業の普及啓発や取組の後押し等を推進していく。

### 課題・連携協力の可能性

- 関連施策・活動の情報周知について、林野庁・国交省等の行政機関及び関係団体（不動産協会等）との連携・協力。

### 関連情報

一般社団法人日本ビルディング協会連合会

会 員 数：1,444（2026年4月1日現在）

ホームページ：<https://www.jboma.or.jp/>



## ウッド・チェンジ・アクション

- 中高層建築物における木材利用を念頭においた、
  - ・ 内閣官房や、国土交通省、林野庁が関連する各種検討委員会等でのデベロッパーの課題認識やニーズ等、事業化に必要な情報の発信・共有
  - ・ 木材利用を検討するデベロッパーが抱える個別課題についての掘り下げや、省庁等行政機関との協議・意見発信
  - ・ 新たに策定されたロードマップや、ガイドライン等の会員宛て発信。
  - ・ 木材利用に関するWGの開催

## 今後のチャレンジ

- 当協会会員における取組実績を通じ判明した課題等について、関係省庁等との情報共有
- 防耐火規制等の合理化に向けた検討や、関係省庁等への意見発信
- C L Tの普及に向けた第4次ロードマップの着実な推進に向けた協力

## 課題・連携協力の可能性

- 課題：コスト優位性の確保、防耐火・構造等基準の合理化、ESG評価の確立、安定供給等
- 連携協力の可能性：関係省庁・関係団体・民間企業との橋渡し



# 一般社団法人全国木材組合連合会

## ウッド・チェンジ・アクション

木材利用を優先する社会（ウッドファースト社会）の実現をめざし、地球温暖化防止、地域社会の活性化に大きく貢献する木材の利用を拡大

1. 温暖化防止・地域活性化に貢献する持続可能な木材利用の推進
2. 住空間、街づくりへの総合的な木材利用拡大への取組
3. 木材産業のグリーン成長に向けた産業構造の確立
4. 安全・安心の木材利用・供給の推進
5. 木材産業における適切な価格転嫁・取引の推進



木材のチカラが、  
この国の街づくりを変える。

## 今後のチャレンジ

- ・都市（まち）の木造化等木材利用の推進
- ・持続性の確保された木材の利用及び  
山元への利益還元と再造林できる体制の構築
- ・令和7年の改正グリーンウッド法施行を受けて  
合法伐採木材の流通・利用の推進
- ・JAS製材品等品質・性能の確かな木材の供給と  
技術開発・普及

### 【木材利用促進月間等での取組】

木材利用推進コンクール表彰式

（開催）令和8年10月23日（金）

14:00～16:00（調整中）

## 課題・連携協力の可能性

- ・幅広い関係者による国産材利用についての  
国民運動の展開
- ・合法性が確認された木材、持続性の確保された  
木材の利用促進

## 関連情報

森林（もり）を活かす都市（まち）の木造化推進協議会 <https://machi-mokuzouka.jp/>  
木材利用推進中央協議会 <https://www.jcatu.jp/home/> もりんく <https://molink.jp/>  
JAS構造材の利用拡大 <https://www.jas-kouzouzai.jp/>、外構部の木質化推進 <https://love.kinohei.jp/>



# 一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会

## ウッド・チェンジ・アクション

### 一般流通材を活用した中大規模木造の普及・標準化

- ・トラス標準図・マニュアルの整備
- ・住宅用プレカット加工機を活用した高精度・低コスト化
- ・講習会・実大組立を通じた技術普及

### 非住宅建築の木造化と国産材利用の促進

- ・事務所・店舗・福祉施設・教育施設等の木造化を推進
- ・CLT耐力壁・高倍率耐力壁等の技術開発
- ・設計・施工・プレカット・製材事業者の連携による国産材活用
- ・実例・見学会等を通じた木造化・木質化の普及



## 今後のチャレンジ

- ・新たな構造技術の開発
- ・トラス技術・標準図の普及促進
- ・積算・BIM等の実務支援の充実
- ・講習会等による技術者育成
- ・国産材の継続的な利用促進



### 【木材利用促進月間の取組

中大規模木造構造設計講習会  
20M超スパントラスマニュアル講習会  
JISトラスマニュアル講習会  
非住宅フェア「インテックス大阪」の参加

## 課題・連携協力の可能性

設計・施工・プレカット・製材事業者等の連携を強化し、技術開発・実務支援・人材育成を推進。実例のPRと情報発信により、中大規模木造の市場拡大と国産材の継続的な利用促進

## 関連情報



技術情報や講習会の予定はこちらから <https://www.precut.jp>



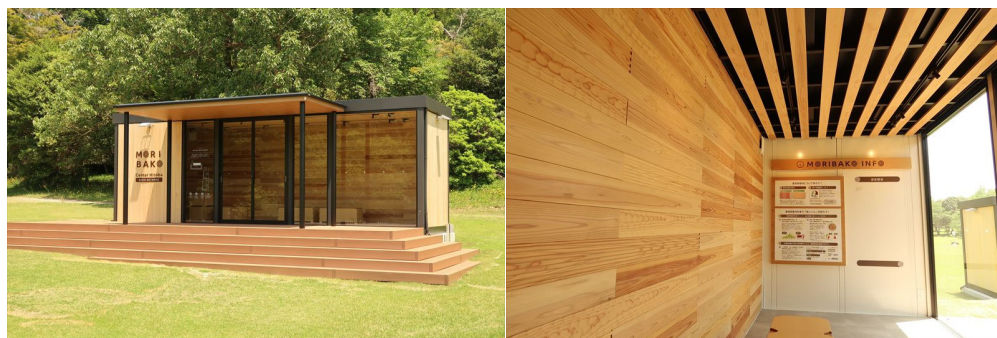


## ウッド・チェンジ・アクション

～会員の取組事例～  
西垣林業(株)

◆ 愛知県森林公園ユニットハウスの木質化  
県内のデザイン企業と協力し、愛知県森林公園ユニットハウス内装の木質化を実施。講演利用者を中心に、様々なイベントにて内装木質化のPRに貢献する。

◆ オフィスビル内装木質化  
丸天産業(オフィス内装デザイン企業)の新事業KODOMOTOプロジェクトの拠点となるビルの内装木質化に協力。交流スペースやシェアオフィス空間のフローリング、壁、家具などに県産材を利用しており、社内外の方に木材の良さを実感いただける場となる。



## 今後のチャレンジ

- ・ 愛知県内の企業向けに内装木質化の提案を行い、県産材利用のメリットを伝える。
- ・ 家具メーカーと共同で、県産材のオフィス家具などの新たな活用方法を検討し、木材利用分野の拡大及び需要促進につなげていく。

【木材利用促進月間等での取組】  
丸天産業の新拠点ビルのお披露目イベントに協力し、メディアや一般向けに木質化された内装の効果についてPRを行う。

## 課題・連携協力の可能性

- ・ 森林・木材関係の情報発信 (SNS・Youtube)
- ・ 異業種・大学との連携で木材を用いた空間・什器の開発に取り組む

## 関連情報

西垣林業株式会社  
丸天産業

<https://www.nishigaki-lumber.co.jp/>  
<https://www.maruten.co.jp/>



## ウッド・チェンジ・アクション

- 国への提言策定・関係省庁への要請活動の実施
  - 「7つの重点事項」を中心に、林業分野の人手不足対策、スマート林業・林業DXの推進を要請
    - ・ 民間建築物の木造化・木質化の推進
    - ・ 木材・木材製品の輸出拡大
    - ・ 財源の確保
    - ・ 建築士等の育成
    - ・ 木材の特性や木材活用のメリット・効果の発信
    - ・ 国産木材への転換促進
    - ・ 花粉症対策の推進
- 「国産木材需要拡大宣言」に基づく各自治体の取組
  - 国産木材活用推進に係る取組事例集の作成
  - いくつかの取組についてはPT会議の場で発表  
⇒優良事例の横展開を積極的に実施

### 取組事例集

資料1

### PT会議の様子

国産木材の需要拡大に向けた  
各都道府県の取組事例集

令和8年6月30日  
全国知事会 国産木材活用プロジェクトチーム



## 今後のチャレンジ

- 引き続き、「国産木材需要拡大宣言」に掲げる取組方針に基づき、各都道府県がそれぞれの地域の実情に応じながら、知恵を絞って個性や強みを活かした施策を実践
  - ・ 公共建築物 ・ 備品や消耗品 ・ 木塀設置
  - ・ 市区町村との連携 ・ 教育活動や広報活動
  - ・ 民間事業者へ働きかけ ・ 建築士等の育成
  - ・ 新たな製品や技術の研究開発
  - ・ 安定供給体制づくり ・ 花粉発生源対策
- 先進・優良事例について、お互いが連携して効果的な共有・発信

(各都道府県の取組)

[https://www.nga.gr.jp/committee\\_pt/item/3419997e1b9e2fae13d21d94118ab5da\\_3.pdf](https://www.nga.gr.jp/committee_pt/item/3419997e1b9e2fae13d21d94118ab5da_3.pdf)

## 課題・連携協力の可能性

- 国産木材活用の意義や魅力の周知・啓発
  - 他団体と連携したイベント開催・PR
- 木材需要者と木材供給者を繋ぐ仕組みの構築
  - 林業DXに繋がる各種システムの構築 等

## 関連情報

全国知事会 国産木材活用PT HP : [https://www.nga.gr.jp/committee\\_pt/project/kukusan\\_mokuzai\\_katsuyou\\_pt/](https://www.nga.gr.jp/committee_pt/project/kukusan_mokuzai_katsuyou_pt/)  
※ HP内に「国産木材活用についての基本情報」のコンテンツがあり、木材の魅力等についてPR

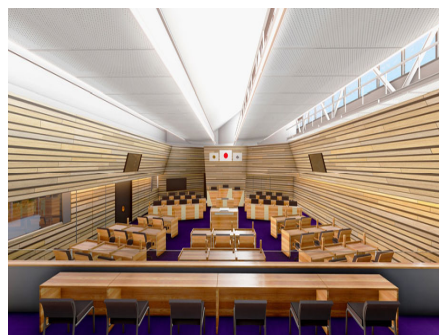


## ウッド・チェンジ・アクション

- ◆ 林政問題に関する研究会(委員市75市 令和8年8月末時点)
  - ・ 林野行政を取り巻く諸課題等の情報収集・意見交換を行うとともに、林野行政の今後のあり方等について調査研究を実施。
  - ・ 「森林・林業に関する提言」のとりまとめ。地域材の安定的・効率的な供給体制の構築、国産材の利用拡大の推進、CLTの普及、公共建築物等の木造化・木質化の推進等について提言。

### ◆ 委員市の取組事例 【群馬県桐生市】

- ・ 桐生市役所本庁舎では、軒や内装、家具に桐生市産のスギ材を採用している。  
また、敷地内で伐採したクスノキを議場の氏名標やドアハンドルに使用している。



## 今後のチャレンジ

- ◆ 国産材の需要拡大を図る観点から、森林環境譲与税の一層の有効活用や国産材の利活用の重要性について理解を深めるため、林政問題に関する研究会において、木材の利用に係る優良事例や、先進的な都市自治体の取組等について情報共有。
- ◆ 国産材の利用拡大、CLTの普及、公共建築物等の木造化・木質化の推進について、提言のとりまとめ及び関係府省庁への要望活動を引き続き実施。

## 課題・連携協力の可能性

- ◆ 森林環境譲与税の更なる活用と国民理解の醸成、木材加工流通施設等の整備、公共建築物の木造化・木質化に係る財政支援、施工者の技術向上に係る支援等が課題

### 関連情報

林政問題に関する研究会「森林・林業に関する提言」(令和7年11月)

[https://www.mayors.or.jp/p\\_opinion/2025/11/251111rinsei-teigen.php](https://www.mayors.or.jp/p_opinion/2025/11/251111rinsei-teigen.php)



## 公益社団法人国際観光施設協会

### ウッド・チェンジ・アクション

#### ■ 木づかい関連セミナーの開催

- ・2026年7月30日 16:00～18:00
- ・タイトル：「木組みと流通材による中大規模木造建築の構造デザイン」
- ・講師：東京大学名誉教授  
(株)ホルツストラー級建築士事務所取締役  
稲山正弘先生
- ・会場：三菱地所設計スタジオ
- ・参加者：協会正会員24名
- ・主旨：非住宅建築における木材の活用、木質化推進の更なる啓蒙とすることを目的とする。



### 今後のチャレンジ

#### 木づかい事例見学会の開催

- ・7月10日：  
大成建設次世代研究所
- ・9月16日：  
日本橋本町三井ビルディング  
& forest
- ・11月：清水建設東京木工場



日本橋本町ビルディング & forest

#### 【木材利用促進月間等での取組】

- ・ウッドチェンジ協議会の活動を定期的に会員に周知。
- ・来年3月開催のホテス展にて協会会員の「木づかい活動」を発表展示する。

### 課題・連携協力の可能性

- ・会員企業は各々SDG'sの取り組みを行っており、国産木材の活用も推進している。当協会は「木づかい」活動を通して会員と連携し、結びつける事で、新たな価値を創出するプラットフォームとしての機能を持つ。

### 関連情報

公益社団法人 国際観光施設協会ホームページ <http://kankou-fa.jp>



## 公益財団法人日本住宅・木材技術センター

### ウッド・チェンジ・アクション

当センターは、木材と建築に係る産・官・学界の接点となり、技術の開発普及、品質性能の向上等を推進することを目的として設立された公益財団法人  
政策ニーズ、現場動向等に即した各種公益事業を通じて、木材利用の新たな道を開くウッド・チェンジに貢献

- ・C L T等新技術を用いた建築の実証、内外装木質化の効果の見える化の実証等の支援、成果データ等の公開
- ・木造建築用接合金物の開発・標準化、木質材料・木造建築供給支援システム・構造計算プログラム等の認証
- ・建築基準合理化等に対応した新開発製品・構法に対する構造・防耐火試験、性能評価
- ・木造建築物の設計等に関する技術資料の発行、講習、各種情報共有化活動の実施、グリーンウッド法に基づく事業者の登録

### 今後のチャレンジ

- ・中大規模木造建築の加速化のため
  - －高耐力金物の開発・標準化、BIM対応の検討
  - －技術解説書や普及資料の発行、講習会の開催等による人材育成
  - －「中大規模木造建築ポータルサイト」等の運営
  - －高強度構造試験、長時間防耐火試験の実施
  - －認証制度を通じた新技術の定着促進
- ・都市木造化のフロンティアとなっている4階建分野をターゲットとした木材流通・木造建築業界への適合性に着目した木造建築供給モデルの普及
- ・中大規模木造建築物のLCCO<sub>2</sub>評価の検討
- ・国産木材活用住宅ラベルの普及

### 課題・連携協力の可能性

関係行政機関、研究機関、業界団体等が進めるウッド・チェンジ関連諸活動、プロジェクト等への積極的参画・連携に努めてまいりたい。

### 関連情報

(公財) 日本住宅・木材技術センター <https://www.howtec.or.jp/>

中大規模木造建築ポータルサイト <https://mokuzouportal.jp/> 中大規模木造建築データベース <https://www.daimoku.jp/>

国産木材活用住宅ラベル協議会 <https://kokusanmokuzai.jp/>



## ウッド・チェンジ・アクション

### ■ ウッドデザイン賞

木を使うことによって社会課題の解決を目指す「ウッドデザイン」の定義により、優れた建築や製品、活動や研究等を生活者目線で評価し表彰を行う顕彰事業を主催



◆ 2025年受賞 ◆ 最優秀賞 (農林水産大臣賞)

2025年日本国際博覧会 大屋根リング

### ■ 会員による部会活動

木を積極的に活用したいと考える企業や団体、自治体など業界横断型のプラットフォームとして、「ビジネスマッチング部会」、「調査研究部会」など4つの部会を運営

### ■ 木材利用の意義、木の効果効用の普及

- 利用の意義を見える化する「Japan Wood Label」、「Wood Carbon Label」を運用管理
- 木の効果・効用についてエビデンスをもって知る機会を提供したWebサイト（ウッドデザイン・ライブラリー）運営

## 今後のチャレンジ

### ■ WOOD DESIGN EXPERIENCE@横浜

(10/31・11/1)

花粉症対策につながる木材利用の普及啓発

テーマ「日本の森をめぐる旅」

## 課題・連携協力の可能性

- 会員間における、木を軸としたビジネス、CSV経営両面での更なる連携
- 自治体との地域産材活用拡大にかかる連携（会員向け視察会、セミナーを積極開催中）

## 関連情報

[ウッドデザイン賞 受賞作品データベース | 木材 建築 木製品](#)

[Japan Wood Label / Wood Carbon Label | 一般社団法人 日本ウッドデザイン協会](#)

[木を活かしたい方のためのデータベースサイト | JWDA WOOD DESIGN LIBRARY](#)



## ウッド・チェンジ・アクション

1. 持続可能な木材の利用
  - ・木板張り仕様の準耐火構造外壁の開発
  - ・□準耐火建築物1号の梁受金物の開発
2. 環境教育・啓発活動
  - ・工務店の実務に役立つ木材の情報提供
3. 地域との連携
  - ・各地域での「木材利用促進協定」の締結推進
4. 木造建築技術の普及
  - ・施工管理マニュアルの普及
  - ・マンション木質化およびJAS材の普及促進
5. 国産材活用と住宅供給
  - ・県産材を活用した応急仮設住宅の供給
  - ・地域工務店による国産材住宅づくりの推進
6. 木材利用と脱炭素の推進
  - ・ホールライフカーボン削減効果の発信強化
  - ・「国産木材活用住宅ラベル」の普及による  
カーボンニュートラル・花粉症対策への貢献

## 今後のチャレンジ

1. 会員工務店への定期的な研修、セミナーの開催、専門家とのネットワークを通じて知識と技術の普及を図る。
2. サプライチェーンの構築により、国産材の需要と供給の安定化を図る。
3. 地域固有のニーズや状況を把握し、木造住宅、非住宅・低中層木造建築の受注支援を行う。

## 課題・連携協力の可能性

各地域の行政や川上・川中・川下間の情報を共有することにより、相互の価値感や背景への理解を深め、より円滑な関係構築を目指す。

## 関連情報

一般社団法人JBN・全国工務店協会 ホームページ : <https://www.jbn-support.jp/>



## ウッド・チェンジ・アクション

### <新・本店ビル計画>

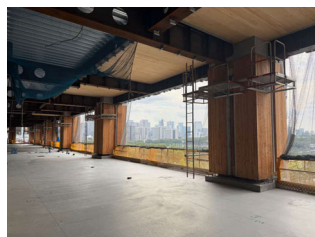
～国産木材を使い木の使用量が世界最大規模となる高さ 100m の「木の本店ビル」へ～

- ◆ 柱や床などの構造材を含め、これまで他に例のないレベルで国産木材を利用し、世界最大規模の木造ハイブリッド構造による超高層オフィスビルをめざします。
- ◆ 木材には、戦後植林され利用期を迎えた国産木材を用いることで、造林、伐採、利用、再造林のサイクルを需要者として支え、山林の保全や水源の涵養、地方経済の活性化など、循環型社会の実現に貢献します。

2025年3月着工→2028年度竣工予定



©Renzo Piano Building Workshop, architects in collaboration with Mitsubishi Jisho Design Inc.



|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 所在及び地番 | 東京都千代田区丸の内1丁目6番1         |
| 敷地面積   | 10,147.61 m <sup>2</sup> |
| 主要用途   | 事務所(本店ビル)、駐車場等           |
| 構造     | S造/木造/SRC造               |
| 規模     | 地下3階、地上20階、塔屋2階          |
| 建物高さ   | 約100m                    |
| 延床面積   | 約130,000 m <sup>2</sup>  |

※国際的なグリーンビルディングの認証プログラムである LEED® の v4 における「LEED® for Building Design and Construction: New Construction」のカテゴリーで最高レベル「Platinum」の予備認証を取得

## 今後のチャレンジ

- ◆ 一般的なビルに比べて建築時の CO2 排出量を **2割程度**削減することに加え、高効率の設備や地域冷暖房の採用、使用電力に 100%再生可能エネルギーを導入するなどの施策により、省エネルギーの推進、脱炭素社会の実現に貢献します。
- ◆ 東京海上グループは、これからもステークホルダーの皆様とともに、災害レジリエンスの向上、健やかで心豊かな生活の支援、気候変動対策の推進、D&I の推進・浸透に繋がる取り組みを通じて、SDGs の達成に貢献します。

## 課題・連携協力の可能性

木材の魅力発信や、木材利用促進に引き続き取り組み、木材需要の創出や林業従事者の雇用の創出に寄与し、我が国の林業の再生、ひいては地方創生、地域循環型経済の構築につなげてまいります。

## 関連情報

東京海上日動火災保険株式会社ホームページ : <https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>



# 株式会社セブン-イレブン・ジャパン

## ウッド・チェンジ・アクション

### 2025年・全国で木造店舗25店舗を開店

・木材総量630m<sup>3</sup>、国産材291m<sup>3</sup>、国産比率46%

### 木造店舗の標準化に向けてのテストを開始

・目的：国産木材比率の向上と共に、コスト削減

#### ①標準化テスト1号店

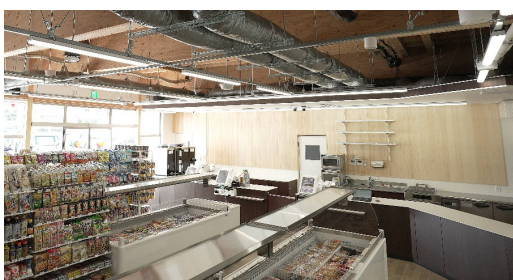
・宇都宮新町1丁目店 2025/2/12開店



- ・栃木県産材100%
- ・栃木県補助金活用
- ・開店セレモニー実施  
(福田知事よりご挨拶)

#### ②標準化テスト2号店

・四国中央中曽根店 2025/7/23開店



- ・国産材100% (県85%)
- ・愛媛県補助金活用
- ・開店セレモニー実施
- ・内装に檜、天井の梁を見せて木造をアピール

## 今後のチャレンジ

### 「木」を活用した循環型社会の構築

- ・建築（木造、木質化）にとどまらない「木」の活用
- ・木材の“資源循環”まで見据えた店舗づくり

**【木材利用促進の取組事例】**※四国中央中曽根店  
四国の「木」を起点に、循環型社会の構築を目指す・  
地産地消の「バイオマス発電」「国産100%の木造」

### 7/22・開店開店セレモニーの様子



#### 主な参加者

林野庁・小坂長官  
愛媛県・中村知事  
四国電力・宮本社長  
SEJ・阿久津社長

## 課題・連携協力の可能性

木造店舗の標準化展開むけては、経済合理性に課題あり。各行政（県単位）との連携を強化、補助金を活用したテスト拡大とそのPRを実施。

## 関連情報

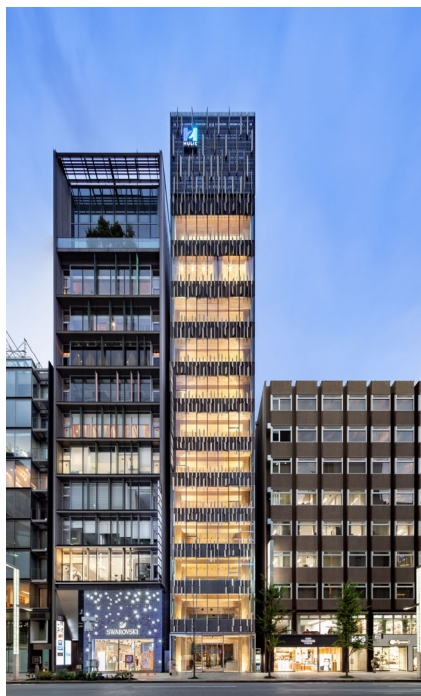
宇都宮新町1丁目店 [https://www.sej.co.jp/company/news\\_release/news/2026/202602111400.html](https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2026/202602111400.html)

四国中央中曽根店 [https://www.sej.co.jp/company/news\\_release/news/2026/202607221300.html](https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2026/202607221300.html)

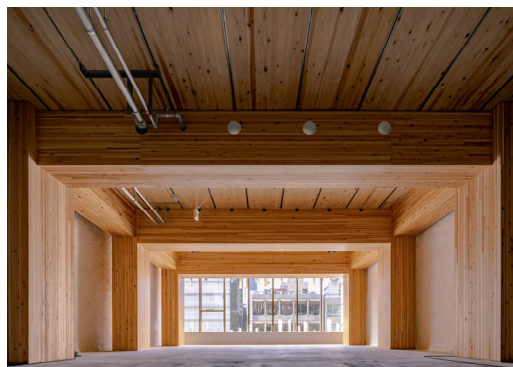


## ウッド・チェンジ・アクション

### HULIC & New GINZA 8



- 延床面積 2,459m<sup>2</sup>
- 階数 地上12階/地下1階
- デザイン監修 隈研吾建築都市設計事務所
- 設計・施工 竹中工務店
- 竣工 2021年10月15日



- 国産材使用量 約300m<sup>3</sup>
- 炭素貯蔵量 約217t-Co2
- 使用した木材のもととなる立木と同量の伐採・植林・下刈り(5年間)を実施
- 耐火集成材の柱・梁、CLTの天井を、テナントは内装としてそのまま使用

## 今後のチャレンジ

- ・中高層非住宅建築や低層高齢者施設の木造化、木質化
  - ・・・木とRC・Sを適材適所に使用した木造化を推進することで経済的にも合理性の高い建築を設計
- ・国産材の積極的使用

## 課題・連携協力の可能性

- ・他企業との連携による、ローコストと躯体寸法の最小化を実現する耐火木材の開発

## 関連情報

ヒューリック株式会社ホームページ

<https://www.hulic.co.jp/>



## SMB建材株式会社

### ウッド・チェンジ・アクション



## 拡がる3階木造校舎

都市部に拡がる中・大規模木造建築の可能性

- 純木造3階建て教育施設の実現
- 都市部における中大規模木造建築の標準化モデル案の実現
- 耐火建築物における木構造あらし空間の創出
- 用途・規模に応じた最適な構造・工法の提案



### 今後のチャレンジ

- ◆ 純木造3階建校舎をはじめとした中・大規模木造建築の更なる普及促進
- ◆ 都市部・防火地域における木造建築の可能性を広げる技術開発と品質向上
- ◆ 燃え代設計や純木質耐火集成材を活用した木構造あらし空間の普及促進
- ◆ 用途や規模に応じた木造・混構造の最適な構造提案力の高度化
- ◆ 設計者・施工者・発注者に向けた木造建築の情報発信及び普及活動の継続

### 課題・連携協力の可能性

- ◆ GIR研究会を通じたGIR接合の品質向上、技術情報の共有及び普及活動の推進
- ◆ 設計事務所・施工者・発注者との協働による中・大規模木造建築の普及啓発及び情報発信
- ◆ 森林組合・製材・加工工場から設計事務所・施工会社・発注者に至るまで、サプライチェーン全体での連携強化と木材利用の推進

#### 関連情報

### SMB建材(株) 木構造事業本部

<https://summit-hr.com/>



### GIR研究会

<https://gir-ken.com/>



六戸町立六戸学園 (青森県)

立教大学 施工中\_躯体 (東京都)

秋田市立日新小学校\_外観 (秋田県)

立教大学 池袋キャンパ19号館 (東京都)

秋田市立日新小学校\_内観 (秋田県)

恵那市立恵那南中学校 (岐阜県)

写真配置



## ウッド・チェンジ・アクション

### ①中高層木造実績

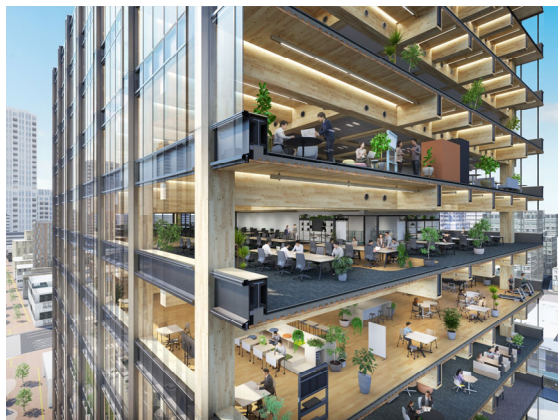


①北海道日建オフィス



②アトリアン・セントラル  
(2026年竣工予定)

### ②S造木質技術開発 (O・Mega Wood Xオフィス)



## 今後のチャレンジ

### Circular Timber Construction (CTC) の取組み推進 (オープンCTCの推進)



顧客と連携した木を中心とした資源循環活動

## 課題・連携協力の可能性

- ①グループ会社スナダヤとの連携強化
- ②木材利用による生産性向上
- ③オープンCTCによる提供価値創造



## ウッド・チェンジ・アクション

### 中大規模木造建築供給支援システム「モクビル」の提供

- ◆ 中大規模・高層木造建築／木質化事業を導入・強化したい建設会社様向けの支援サービス
- ◆ 営業、設計（意匠・構造・防耐火）、施工など、案件創出から竣工まで、各工程を支援
- ◆ (公財)日本住宅・木材技術センターによる「木造建築供給支援システム認定制度」の中大規模・中高層対象として日本初認定を受けたシステム

「モクビル」によって中大規模木造建築のノウハウを全国に普及し、木造建築の実現・木材利用量の拡大を目指しています。

<https://mokubiru.shelter.inc/>



## 今後のチャレンジ

### 「木造都市」の実現

木質耐火部材を活用した木造ビルの普及・拡大

純木造5階建「神人クリニック」

設計・施工：下岸建設(株)

構造設計・防耐火アドバイス・

木構造体供給：(株)シェルター

設計協力：ぽたデザイン、

moa architects

施工協力：(株)よつば建設

◆ COOL WOOD採用



## 課題・連携協力の可能性

(一社)日本木造耐火建築協会を  
通じた木造耐火技術の普及

2026年6月に新認定74件の運用開始、  
隔月でオンライン講習会開催中。



## 関連情報

【HP】<https://shelter.inc/>

【Facebook】[@shelter.fb](https://www.facebook.com/shelter.fb)

【Instagram】[@shelter.ig](https://www.instagram.com/shelter.ig)



## ウッド・チェンジ・アクション

### 木材の価値向上を目指し

#### (株)シェルターと(株)天童木工が業務提携・共同開発

- ◆木材の価値向上による川上側（林業・製材業等）への貢献（利益還元・再造林促進等）による循環経済の実現に寄与する。
- ◆素材やデザインなどの「質」の向上によって木材の商品価値を高めることを目指す。
- ◆木材の価値向上の取り組みとして両社のノウハウを活かした上質な木造空間の設計、構造とインテリアを一体とした新製品の共同開発などを推進する。  
第一弾として「（仮称）COOL WOOD Premium」を開発。

## 今後のチャレンジ

### 高付加価値の木材による上質な空間の提案

- ◆建築と家具などのインテリアをトータルデザインした木材による上質な空間の提案のため、素材からデザイン・細部の仕上げまでこだわった木質耐火部材「（仮称）COOL WOOD Premium」を開発。表面材は多様な樹種や塗装に対応。
- ◆今後は準不燃化した表面材、曲線美を活かしたデザイン、耐候性のある表面材などにより、外部等使用範囲を広げ、木材需要の拡大を目指す。

## 課題・連携協力の可能性

シェルターの木造建築の設計・施工ノウハウと  
天童木工の家具・インテリア設計・製造の  
高い技術力による新たな木材価値の創出  
新製品などのお問い合わせは[こちら](#)



## 関連情報

【シェルターHP】<https://shelter.inc/>

【天童木工HP】<https://www.tendo-mokko.co.jp/>



## ウッド・チェンジ・アクション

### <【木の効果】研究成果ライブラリー>



2026年5月22日  
WEBサイト開設

筑波研究所の研究の成果を発信するWEBサイトを開設しました。

### <木造平屋建 大学（保健管理施設）>

2026年3月5日  
ニュースリリース

物件名：津田塾大学ウェルネス館

所在地：東京都小平市

構造：木造平屋建て

45分準耐火構造

延床面積：460.17㎡

基本計画・設計監理監修：株式会社安井建築設計事務所

設計・施工：住友林業株式会社



## 関連情報

【木の効果】研究成果ライブラリー  
住友林業館「ひゃくの森」特設サイト  
One Click LCA

<https://sfc.jp/information/company/rd/tukuba/woodlibrary/>  
<https://sfc.jp/expo2027/>  
<https://sfc.jp/treecycle/value/oneclicklca.html>

## 今後のチャレンジ

GREEN×EXPO 2027の  
Craft Villageに出展します。

住友林業館

100の森  
100YES, 100FORESTS.

2026年3月19日ニュースリリース



## 課題・連携協力の可能性

建物のCO2を見える化するソフトウェア

『One Click LCA』の販売・算定受託事業と  
併せ、建材の環境認証ラベル『EPD』  
の取得推進事業も進めています

One Click LCA





## ウッド・チェンジ・アクション

### 竹中2026アクション①

続々と木造・木質建築プロジェクトが実現しています



REVZO新橋



ちゅうぎん丸の内ビル



宮崎県東京ビル



日本橋本町三井  
ビルディング & forest

### 竹中2026アクション②

キノマチウェブでまちと森をつなげる情報を発信しています

キノマチウェブ



#### 【記事カテゴリー】

“木”のサーキュラーエコノミー

新時代の森林経営

最新木情報・川下の動き

## 今後のチャレンジ

中大規模建築での木材利用で  
森林グランドサイクル®の維持・拡大を目指します



森の産業創出として、信州の小径木を  
高付加価値の合板に再生する、共創  
プロジェクト「NOITA(ノイタ)」を始動



## 課題・連携協力の可能性

【塩尻市奈良井区における森づくり】  
塩尻市と当社の地域連携協定締結  
(2020年)の関係性を深化  
育樹、植林を継続し、建物への活用と  
持続可能な森づくりを推進



植樹イベント  
(2026年5月30日)開催

## 関連情報

竹中工務店の木造・木質建築 : <https://www.takenaka.co.jp/enviro/environment/>

キノマチウェブ : <https://kinomachi.jp/>

キノマチラボ (Instagram) : <https://www.instagram.com/kinomachilab/>



## ウッド・チェンジ・アクション

### ①「モクタス」による木材利用普及活動



#### 非住宅木造建築フェア 2026

2026年5月13・14・15日  
東京ビッグサイトにて開催

モクタス n°8  
2026年5月に発行



### ②施工実績



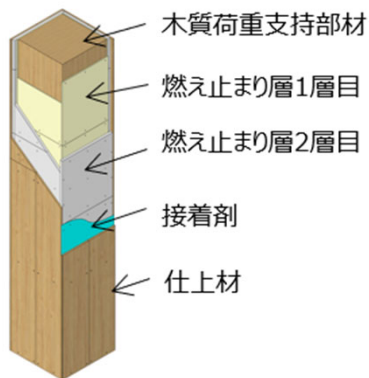
用途：教育施設  
構造：木造  
竣工：2026



用途：宿泊施設  
構造：木造  
竣工：2026

### ③木造 1 時間耐火柱 モクタスWOOD (HC耐火)

木造技術として、施工性の向上と環境配慮を両立するオリジナルの木造1時間耐火柱を開発し、国土交通大臣の認定を取得しました。



## 今後のチャレンジ

### TCFORECRION

2026年3月、スマート林業の事業が正式に承認され、東京都あきる野市で本格的に事業を開始。

大規模な集約型搬出間伐施業を計画し、遠隔操作による伐採集材車「シン・ラプトルⅡ」を林業業界で初めて本格導入し、安全性・生産性の高いスマート林業に取り組む。



## 課題・連携協力の可能性

- ・スマート林業で出荷された木材を建設に活用し、山と都市を繋ぐサプライチェーンの構築。
- ・森林環境教育、施業地森林空間活用等。
- ・木造建築のコスト低減

## 関連情報

モクタス（木造・木質建築） ホームページ  
東急建設株式会社 ホームページ

<https://www.tokyu-cnst.co.jp/moctas/>  
<https://www.tokyu-cnst.co.jp/>





## ウッド・チェンジ・アクション

### 学校机・会議机のPR

国産針葉樹無垢の表層圧密材を天板に使用した学校机・会議机の展開。地域材の活用による地域貢献と、森林環境譲与税の使途として活用を推進。



### MOK UNIT

現場での作業を最小限に抑え短工期・安定した品質・周辺環境への配慮を実現したユニットハウス。木造ならではの快適性や上質感を実現。



### 浜松ハイブリッドラボ

RC造と木造のハイブリッド免振マンションの着工。国産材、地域材の木質化にも取り組む。



## 今後のチャレンジ

- 非住宅領域：内外装木質化の推進
- 公共・文教領域：自治体への学校机・会議机PR
- 産業資材領域：架装メーカー・貼り換え業者へのトラック床材PR
- 暮らしの領域：プロダクトメーカーとの開発強化

### 【木材利用促進月間等での取組】

10月15-16日:木と暮らしの博覧会 開催  
9月19-1月11日:OZONEカタログライブラリー登録企業紹介展示

## 課題・連携協力の可能性

生産から販売までを担う、ご当地Gywood®のサプライチェーンの構築

### 関連情報

ナイス株式会社 コーポレートサイト : <https://gywood-muku.jp/>  
ナイス オリジナル素材 公式サイト : <https://www.nice.co.jp/rd/>  
Gywood®Instagram : [https://www.instagram.com/gywood\\_nice/](https://www.instagram.com/gywood_nice/)





## 前田建設工業株式会社

### ウッド・チェンジ・アクション

#### ■木のプロジェクトが広がっています

##### ・地域の素材を取り入れた「某ゲストハウス」



自然環境に溶け込む外観



地元素材を取り入れたインテリア

協定を締結して  
飛騨の家具を多く採用

[地域の素材を取り入れたゲストハウス新築工事 | 木で建ててみよう | 前田建設×木 記事](#)

##### ・市民に親しまれ、気軽に立ち寄れる防災拠点「御坊市庁舎」



こぼろ防災デッキ



紀州材をふんだんに使った議場

2025年度  
ウッドデザイン  
賞受賞

[御坊市庁舎がウッドデザイン賞2025を受賞！ | 木で建ててみよう | 前田建設×木 記事](#)

#### ■木材利用普及に向けたパンフレットを発刊しました

『木で建て  
てみよう®』



『さらに木で建て  
てみよう®』



### 今後のチャレンジ

飛騨市との連携協定に基づき、それぞれの独自資源を活かしながら、地域の持つ環境価値と、都市の持つ経済価値を循環させる仕組みを作り、相互の課題解決につなげる取り組みを推進します。

#### 【木材利用促進月間等での取組】

- ・10/7：富山ウッドチェンジセミナー講演
- ・10/30：ICI建築講演会  
「藤森照信建築を語る」の開催
- ・11/14：甚吉邸講演会及び  
木組みワークショップの開催

### 課題・連携協力の可能性

- ・木材利用を活かして地域の課題を発見、解決できる設計者の育成
- ・各種木造開発技術の実物件への積極的な採用

### 関連情報



木で建ててみよう 前田建設×木

[木で建ててみよう | 前田建設×木 \(kidetatetemiyou.com\)](http://kidetatetemiyou.com)



私たちは木で建てることを通じて多面的に社会とかわり、木に寄り添いながら新しい価値を作り出していきたいと考えています



## ウッド・チェンジ・アクション

### ◆「木造マンション」100棟受注達成

2026年5月15日の受注をもって木造マンションの累計受注棟数が100棟を達成いたしました(炭素貯蔵量が累計11,291t-CO<sub>2</sub>、東京ドーム6.4個分に匹敵します)



### ◆三井ホームグループ初の木造交番が完成

構造体にCLTの箱型ユニットを採用、安全性や環境に配慮し北海道産の建材も活用することで、持続可能な地域社会の実現に寄与いたします。



## 今後のチャレンジ

### ◆トラスを用いた大空間の木造建築を実現

東京都東大和市にて青梅信用金庫の支店を14mの屋根トラスを採用することで木造建築で実現しました。2027年8月に神奈川県横須賀市で開校予定の秋谷葉山国際学園の校舎工事では28mスパンの木造トラスを採用します。



## 課題・連携協力の可能性

### ◆県との木材利用協定の締結

鹿児島県と県産木材利用促進によるSDGs貢献や地域活性化に対応した協定を締結しました。

## 関連情報

- ・ 2026. 6. 29 ニュースリリース 『[三井ホームグループ初の木造交番が完成](#)』
- ・ 2026. 6. 10 ニュースリリース 『[三井ホームが開拓した選択肢「木造マンション」が100棟受注を達成](#)』
- ・ 2026. 6. 30 ニュースリリース 『[「秋谷葉山国際学園」新築工事に着手](#)』



## 三菱地所株式会社

### ウッド・チェンジ・アクション

三菱地所グループは、木を活用する社会の実現を目指して、2020年に総合林業事業会社であるMEC Industry(株)を設立し、国内森林の循環再生などを通じて社会課題の解決に貢献すべく、非住宅木造市場へ参入した。



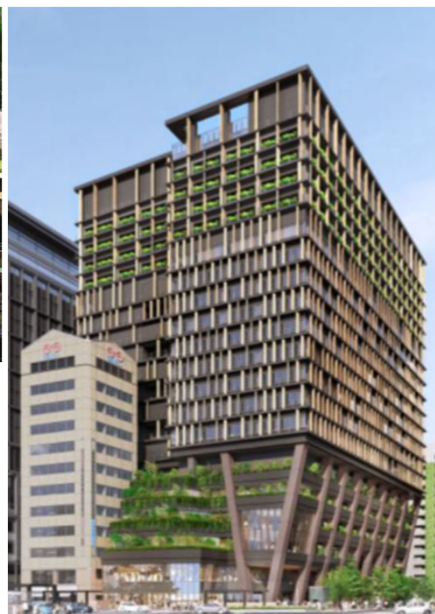
▲YURAKUCHO PARK 2027年竣工予定



▲CLT根巻き



▲WOOD FLOOR UNIT 3.2



▲天神大樹 2027年5月末竣工予定

### 今後のチャレンジ

2016年頃から、社会的意義や価値の創出を意識した象徴的な木造建築に挑戦してきたが、現在は、「木造建築を実現できるか」という段階から、「いかに普及・定着させるか」という段階へ移行しつつある。その取り組みの一つが、コンパクトオフィスシリーズ「CIRCLES」の一部木造化である。テナントビルにおける木造・木質化の標準化を目指し、「壁・柱梁・床・天井・軒天」の5つの要素ごとに、部材の選択肢やコスト、導入効果を可視化している。これにより、投資対効果を踏まえた合理的な意思決定の仕組みを構築し、木造・木質化を特別な取り組みではなく、一般的な選択肢として定着させることを目指している。

### 課題・連携協力の可能性

グループ会社のMEC Industry社では新たな木質化製品を開発。プレファブ化された型枠兼天井材の機能を有する床システムMIデッキに続き、フリーアクセスフロア(OAフロア)、ルーバー、仮囲い、CLT根巻きなど多様なアセットでの木質化を提案する。

### 関連情報

三菱地所グループの木造木質化事業ホームページ WOOD INNOVATION <https://mec-moku.com/index.html>

川上にはMEC Industry (CLTなどの木材の製造・販売)、川中には三菱地所ウッドビルド (建築資材の製造や設計・施工、ゼネコンからの一次請け) や三菱地所設計 (設計)、川下には三菱地所レジデンス (分譲マンションの企画・開発・販売) や三菱地所ホーム (戸建て住宅の企画・開発・販売) など、幅広い領域をカバーしている点がグループの強み。



## ウッド・チェンジ・アクション

## 国内初のNearly ZEB木造賃貸オフィスビル着工

日本橋で2棟目のハイブリッド木造賃貸オフィスビルを開発  
木造建築の「実装」から「普及・一般化」へ



▲(仮称)日本橋本町一丁目5番街区計画  
外観 完成予想パース

- 三井不動産グループ保有林の木材を含む**900m<sup>3</sup>超**の木材を使用し、**約660tのCO<sub>2</sub>を固定化**
- 高層部（8～11階）は床・壁・柱・梁に木材を活用し、**純木造のオフィス空間**を実現
- 三井ホームが独自開発した木造技術「MOCX WALL」をオフィス向けに改良し国内初適用。また、活用機会の少ない**大径木の製材**や、**一般流通規格の木材**を積極的に活用
- 木に直接触れられる空間を創出し、都心にいながら自然を身近に感じられる「行きたくなるオフィス」を計画

2027年度竣工予定

## 今後のチャレンジ

- 1棟目の「日本橋本町三井ビルディング &forest」で培った知見を発展させ、木材利用の幅を拡大するとともに、一般流通材や大径木の活用、木材加工の合理化等を通じて、都市部における木造建築のさらなる普及・一般化を目指す
- 「植える→育てる→使う」のサイクルによる“終わらない森”創りに取り組む



▲エントランスホール 完成予想パース

## 課題・連携協力の可能性

- 都市部の中高層木造建築のさらなる普及に向け、木材の安定調達、一般流通材の活用、加工・施工の合理化、コスト低減等について、設計会社・施工会社等と継続して取り組む

## 関連情報

国内初のNearly ZEB木造賃貸オフィスビル「(仮称)日本橋本町一丁目5番街区計画」着工  
900m<sup>3</sup>超の木材を活用し、純木造のオフィスを実現

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2025/1104/>

(2025.11.04 ニュースリリース)



## ウッド・チェンジ・アクション

### 【岡山県・広島県・四国にて各県産材の利用拡大】

- ・岡山県➡岡山県産材を、供給住宅の100%に活用
- ・広島県、四国➡構造材の約7割に各県産材を活用

### 【西粟倉村の森林保全と林業活性化に関する協定】

- ・社員向けに森林研修を毎年開催（2022年～）
  - ・持ち帰った苗木を保育しつつ、建材になるまでの過程を学ぶ
  - ・保育した苗木を植林。森林サイクルを体験により学ぶ（2024年～）
- ➡森林問題・循環型社会への理解を、社員の得た意義を一般ユーザーへと伝え続け森林保全と建築物活用との繋がりや脱炭素への貢献意識を高める。



## 今後のチャレンジ

岡山県にて県産材活用を供給住宅の100%とするのに、約3年を費やした。今後は現在取組を始めている広島県、四国の活用率を同様に100%としていく事、及び兵庫県・九州にて供給住宅への各地県産材活用を推進していく。同時に、社員への循環型社会への取組に対する意識を高める事を目的として、2022年より続けている森林研修・植林体験の機会を、岡山県に留まらず各供給地域に広げていきたい。

## 課題・連携協力の可能性

現在供給住宅の50%以上にCLTを活用しているが、製造拠点が限られるために、特に東日本での県産材活用へは、コストが大きな問題となる。

## 関連情報

- 【ホームページ】 <https://lifedesign-kabaya.co.jp/>
- 【プレスリリース】 <https://lifedesign-kabaya.co.jp/news/press/>
- 【Facebook】 <https://www.facebook.com/lifedesignkabayaFAN/>



## ウッド・チェンジ・アクション

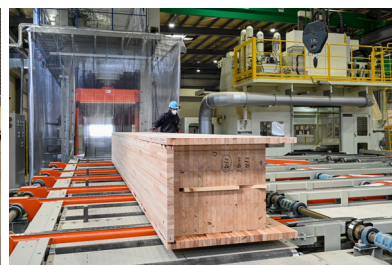
CLT・集成材の供給に加え、企画段階での提案から地域産材のコーディネート、木工事まで、木造建築の実現を一貫支援。耐火性能など、中大規模建築に求められる技術開発にも取り組み、国産材利用の拡大と非住宅分野の木造化を推進。



CLT・集成材を活用した  
本社事務所



国内初のCLT量産工場  
最大サイズ0.27×3×12m



国内初の周回連続型  
超大型集成材製造ライン  
最大サイズ1.5×1.5×14m

### 【技術開発の例】

- 1.5時間耐火CLT壁の大臣認定を取得  
CLTを用いた外壁および間仕切壁の1.5時間耐火構造の国土交通大臣認定を5件取得（2026年7月）。建築物に求められる性能に応じた、より経済的な耐火設計が可能に。
- 300mm厚以下の遮音床構造を開発  
RCスラブ150mm厚と同等の遮音性能（LH-60/LL-50）と薄さを両立し、絶対高さ10m地域でも木造4層を可能に。※三井ホーム㈱との共同開発（2026年7月、特許出願）。  
LH = 重量床衝撃音（バングマシン）、LL = 軽量床衝撃音（タッピングマシン）。

## 今後のチャレンジ

- 非住宅木造の市場化・合理化の推進
- 規格化されたモデルによる、再現性の高い「CLT集合住宅事業」の提供
- 投資価値を高める、劣化対策等級3+耐火構造を備えた「都市型CLTマンション」の推進
- 箱型木製ユニット「CLTセルユニット」の用途拡大・供給体制強化

※「CLTセルユニット」は㈱SAI建築社の登録商標。

### 【木材利用促進月間等での取組】

- 関西 非住宅木造建築フェア2026（10/29、30）への出展

## 課題・連携協力の可能性

設計者や施工者との連携による、設計・生産・施工を通じて合理化した木造建築システムの構築。



## ウッド・チェンジ・アクション

当社は鉄道建設・駅改良工事を中心に、木材利用拡大を検討し、ウッド・チェンジの推進に取り組んでいます。

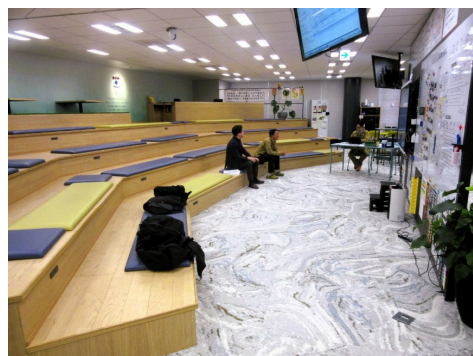
### 1. 鉄道木造ホーム上家の開発

- 鉄道分野における木材利用拡大に向け、木材と鋼材を組み合わせた駅ホーム上家の試験体を製作し、構造性能や施工性に関する知見を取得した。木材の炭素固定や地域材活用による脱炭素社会への貢献を目指し、金属プレート接合による高精度施工と実験施設での組立試験を実施した。



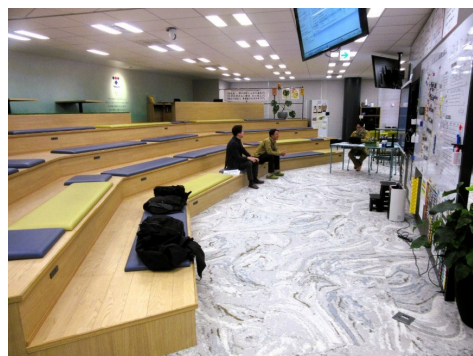
### 2. 新宿駅ホームでのCLT活用

- 営業中の新宿駅ホームにCLT床材を試験導入し、環境負荷低減の可能性と安全性・耐久性・施工性・維持管理性を検証している。2025年4月からの継続実証を通じて、都市鉄道施設への木材利用モデル構築を目指している。



### 3. 作業所の打合せ広場でのCLT活用

- 作業所内にCLTを活用した円形劇場状の交流空間を整備し、現場コミュニケーション空間における木材利用効果を検証している。木材の快適性を活かした作業環境の向上を図るとともに、意見交換や安全教育の場として活用している。



## 今後のチャレンジ

- 新事業での取り組み: 半炭化材料を用いたバイオマスガス発電や早成桐の栽培事業など、木材・林業関連事業の展開



- 駅施設における木材利活用の拡大と定着

## 課題・連携協力の可能性

- 鉄道施設向け木質部材の共同開発
- 駅施設における木材活用実証の拡大、CO2固定量の見える化

## 関連情報

### 森林循環に向けた「てっけんの森」活動

- 全国3拠点で「てっけんの森」活動を展開し、森林整備を通じて木材利用と森林循環を推進中。未来につながる森づくり～2026年度も全国3拠点で「てっけんの森」活動に取り組んでいます。<https://www.tekken.co.jp/blog/000351.html>





## ウッド・チェンジ・アクション

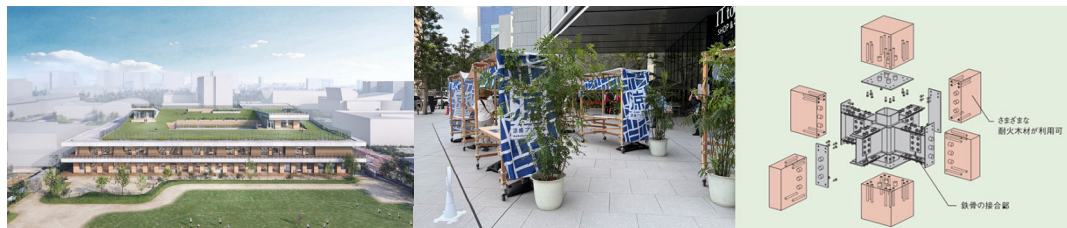
### 川上から川下をつなぐウッドコーディネーション

建築の木造木質化の社会実装をめざし、設計者に木材や地域材の特性や法制度を伝えるとともに、設計支援ツールの整備を推進。

「つな木」による地域連携と都市での普及・循環  
木質ユニット「つな木」を軸に地域の事業者との協働を進め、木材利用の普及と地域循環型の仕組みづくりに寄与。都市イベントや、地域材を活かした空間づくりを展開し、木の魅力を国内に発信する。

### 中大規模耐火木造の汎用接合部の開発

中大規模木造用の柱梁接合部を開発。特定メーカー・施工者に縛られないため、コスト競争力を確保。木と鉄のハイブリッド構造にも対応。



地域材設計事例 | 昭和学院秀英幼小 池袋涼感プレイスプロジェクト 耐火木造用靱性柱梁接合部

## 今後のチャレンジ

- ・ 森林資源の循環、国土の保全を目的とした  
**都市・建築の木質化の研究および実践**
- ・ 中大規模における**木造・木質化建築の設計**
- ・ **木造・木質化のコンサルティング**
- ・ 川上・川中・川下をつなぐ**ウッドコーディネーション**
- ・ **中大規模木造の設計支援AIチャットボット**
- ・ 木質ユニット「つな木」の普及

## 課題・連携協力の可能性

- ・ サプライチェーン全体との共創・協働
- ・ 木造木質設計を担う人材の育成・支援

## 関連情報

Nikken Wood Lab : <https://www.nikken.co.jp/ja/insights/tsunagi.html>  
つな木 : <https://tsunagi-wood.jp/>



## ウッド・チェンジ・アクション

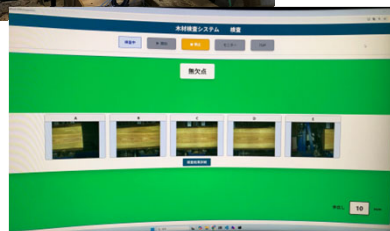
### 大径材の利用促進に向けて

#### ①スギ大径材製材の効率化技術を開発

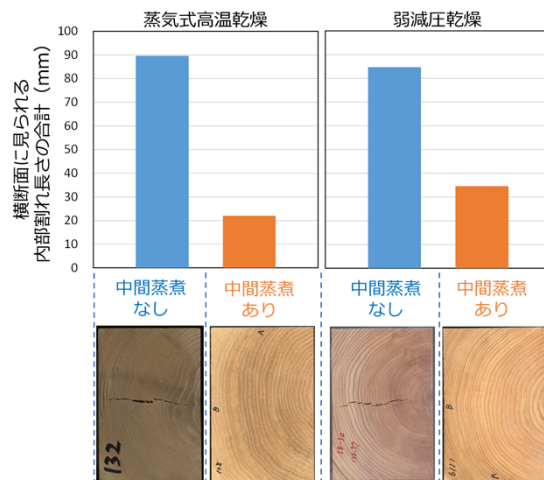
→AIを活用し、節の有無等の挽き材面性状を瞬時に判定してモニター表示するシステムを開発。

#### ②強度性能を担保する心去り平角の乾燥技術を開発

→乾燥途中の蒸煮処理(中間蒸煮)により、スギ大径材から生産した心去り平角の内部割れを抑制し強度低下を防止。



挽き材面性状のモニター表示システム



スギ心去り平角の内部割れを抑制

## 今後のチャレンジ

### 国産広葉樹材の利用促進に向けて

小径、短尺の地域産広葉樹材から新たな価値を生み出し製品利用比率を高めるための、広葉樹材の選別基準提案や接着部材の曲木加工技術開発

### 非住宅・中大規模建築物等への利用推進に向けて

超厚合板等の新たな木質材料の社会実装、デジタル技術等を応用した木材・木質材料や木質構造の性能評価や維持管理技術の高度化

### 【木材利用促進月間等での取組】

・公開講演会「森林と多様な生き物たちのつながりとその保全」を開催

(10月21日(水) 13時00分～ 東京都千代田区で開催)

### 課題・連携協力の可能性

- ・新規木質材料の製造技術の小規模実証
- ・新規木質材料およびそれらを用いた木質構造の実大性能の評価
- ・木質構造・木質空間の良さの科学的解明

## 関連情報

### <研究プロジェクト紹介>

農林水産技術会議ホームページ

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/project/jisseki/2023/index.html>



ウッド・チェンジ協議会の取組に関する資料は  
林野庁ホームページにて御覧いただけます。  
是非とも、御覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wckyougikai.html>

